

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例（28～30年度：計画作成主体：秩父別町農業再生協議会）（北海道）

取組の概要

取組の概要：①米穀乾燥調製貯蔵施設における調製精度の強化
②高価格品種「ゆめぴりか」を基軸とした良食味（低タンパク）米生産の推進

計画作成主体：秩父別町農業再生協議会
対象品目：水稻（産地面積：1,166ha）
主な取組主体：秩父別町
成果目標：契約栽培割合の10%以上の増加
かつ50%以上
助成金の活用：整備事業（穀類乾燥調製貯蔵施設）
状況

ポイント

施設能力の向上により受入可能数量を増加、主食用米の作付拡大、農薬節減米・YES！Clean米・品種転換等の高品位米の取組拡大を図ることにより、契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H26年度〉

作付面積：1,166ha
契約取引数量：2,521 t

- ①特色ある米づくりを目指しているが、施設の調製能力が不足しており適期受入・調製作業に支障をきたしている
- ②実需者ニーズ（高品質保持）への対応不安
- ③販売戦略（農薬節減米・YES！Clean米生産拡大・品種転換）を躊躇
- ④近年の異常気象による高温障害被害粒（乳白・腹白）への対応が困難

〈目標:H30年度〉

作付面積：1,196ha
契約取引数量：4,742 t

- ①特色ある米づくり（農薬節減米・YES！Clean米等）
- ②産地収益力の強化を図る

産地体制

地域の関係者（秩父別町、北いぶき農業協同組合、農業関係者等）が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○町、JAが連携して秩父別町産米の品質向上による認知度向上や安定供給等の活動を展開。

〈道・市町村単独事業〉

○担い手への農地の利用集積の推進、低コスト化・環境への配慮を意識した取り組みなどについて総合的に支援。

取組成果

乾燥機・粳摺機・色彩選別機の能力が強化されることにより日処理能力が向上、適期受入可能数量が増加することから、刈遅による品質低下のリスクが低減。処理能力の向上により受入可能数量が増加することから、主食用米作付面積を増加させ産地収益力の強化を実現した。

～契約取引割合の増加～
契約取引割合が46.5%増加
（達成率150%）

